

2021年10月15日

洛南高等学校附属小学校

面談者：余根田校長、片山渉外主任

【～洛南小学校の大切にしている点～】

1. 知識の習得ではなく、小中高12年間で高い知性を身に付ける。
「正解のない問い」を答え続ける思考力を高める
2. 挨拶を通して感謝の気持ち、相手を想う気持ちを身に付ける。
「合掌」を通して心の教育を行う。
3. 子どもの成長のために教師・親が共に成長する

洛南高校を卒業する時は18歳だが、15年後の33歳になった時に良い人生を歩んでいるな
と思える人材になって欲しい。

【～受験に対する考え～】

「洛南で学びたい！」というお子さまに来て欲しいため、本当は入試を行いたくない。
しかし、90人という人数制限があるため行っている。

試験問題については学力のチェックだけではなく、「入学後のことを考え、小学校の教育に
つながるもの」になるよう意識し作られる。

一つの問題に、思考力、数論理能力、国語力が問われる。

小学校受験塾には不評であるが、「親の作文」にも重点を置く。

題目は3つ用意され、1つを選択。

作文を通して、親の本質を見ることが出来る。最近では受験塾で対応マニュアルも用意させ
ているが、そういった文章はすぐにわかるとのこと。

文章の構成が良い、誤字脱字がない等は関係なく、「考え方を通して学校教育の方針と家庭
での教育方針があっているか」、「どのように考え子どもに接しているか」を確認しているた
め、事前に対策をする必要がなく、ご自身の言葉で作文してほしいとのこと。

例：「ヘリコプターペアレンツについて」など

【～洛南小学校での学び～】

開校から7年が経ち、小3だったお子さまが現在高校1年生になっている。

洛南中学に外部進学した人たちとは中学入学時には学力で負けていたが、高校進学時には
外部進学した人たちと同等の学力になっている。

今後も人間性、知性ともに外部進学組に負けない教育を行っていく。

現在、偏差値偏重の教育になりがちであるが、本来の「心」、「学」、「身」の教育を通して自立できる人間を育てたい。

【～ピグマリオンとの関連性～】

親の成長が子供の成長になるという考えはピグマリオンの「共成長」の考えと一致する。ピグマリオンでは幼児の時から親子で学ぶことを大切にしているため、洛南小学校に入学後も共に学ぶ姿勢で良い親子関係が築ける。また学習面においてもピグマリオンの思考力問題を行うことで、「正解のない問い」に答え続ける能力を身に付けることが出来る。

【～学校情報～】

空海弘法大使が創られた綜芸種智院の精神に基づき、「学びたい子が学べる環境を作りたい」との思いから創設。洛南中学校に入学するお子さまには中学受験に失敗し、心の傷ついた頭の良い子がいます。そのようなお子さまと成績が普通でも入ってから一生懸命頑張っている子がいたら、一生懸命頑張っている子があらゆる面で逆転した子を数多く見てきたので、心を傷ついた子をなくすため、幼児教育を通じて親子の教育を行いたいとの思いから小学校を開校した。